

2024年
6月号

ニューズレター

Anger



いつも研修会に参加して思う事...

6月になり、紫陽花の花がきれいに咲いています。子どもの頃は紫陽花が可愛いと思えなかったのですが、品種も増えて、私も歳を重ねて今はとても可愛いと思うようになりました。

さて、先日「4歳半～9, 10歳、思春期の発達を学ぶ」研修会に参加しました。いつも研修会に参加して思うのですが、講師のお話を聞いている時に子どもたちの顔が次々と浮かんできます。そして講師の言葉に乗せて、子ども達の行動が言語化されていきます。「あの子は、あの時、こんな気持ちか～」「いつも〇〇ちゃんがこう言ってるのは、(講師の)この事なんだ」と、振り返ることができます。

今回、研修で顔が浮かんだ中の一人、高等部のAくんです。彼には好きな指導員がいて、そばにそ～と行きピトッとくっついたり、「今日の給食何食べた？」などの質問に2語文から3語文で話したりしています。お手伝いを頑張ったあとは「〇〇したな～」と自分の行動を満足しながら振り返っている姿もあります。しかし、最近その指導員と会えず、マットにポツンと座っていることがよくあります。彼は、手先の不器用さやイメージの広がりにくさから、好きな遊びの時間になるとやりたい活動が見つからず、周りで同年代の友達がオセロやレゴブロックをしている様子を傍観しています。ですが、お手伝いになるととても張り切ってやってくれます。「頼りにされている」感覚が嬉しいのでしょうか？

研修時に彼くらいの発達年齢の育ちの中で【自分が頑張った姿を確かめる時間(期間)が大切】という事を改めて学びました。そういえば、お手伝いがうまく行った時は帰りの車の中でズ～っと「今日は頑張った。お手伝いいっぱいした。」と、何度も何度も、添乗の指導員に伝えていました。この姿にはそういう意味があったのだと、研修を通して気づく事ができました。今は彼ができるお手伝いを、本人が嫌でなければやってもらい、その余韻に浸れる時間を大切にしていこうと指導員と話しています。研修を通して日々の活動を見直す事ができる、これぞ研修の醍醐味だなあと感じています。

郡 奈美



研修会「障害のある人の暮らしを 作ることと社会的支援の課題」

5月16日、佛教大学の田中智子教授にお越しいただき、日本やフィンランドのグループホームの事例を基に障害のある人の暮らしについてお話いただきました。グループホームにはご飯を食べる時間など規則があり、それに則って生活しています。そして、共同で生活しているので、そこに家族や友達を呼ぶことはむずかしい状況です。フィンランドのとあるグループホームには各部屋にインターホンがあるなど、部屋が自分の空間(家)として確立しているという話もありました。今ある日本のグループホームのあり方を当たり前と思わず、利用者が「物言う当事者」となり、またそこにかかわる人々がつながりあい、当事者が自分らしい生活を送るために何ができるのか考えていく必要があると先生の話聞いて感じました。そして日頃からAngeで大切にしている、自己主張ができること、YES・NO・HELPと言えることはとても重要だと改めて思いました。



室内遊び



Ange westから
最近のお部屋での活動をご紹介します！



お手伝いありがとう！

Ange westでは新聞紙を10枚ほどつなげ「よいどん！」の合図で、足を使い巻き取るという「新聞紙レース」で遊んでいます。新聞紙がシャカシャカという音を出しながら勢いよく短くなる様子は、やっている人も見ている人もとっても爽快で盛り上がる遊びです。

「よし！早く巻き取りたいから靴下脱ごうっと！」とスタッフが言うと、素足が苦手な子ども、もっと早く巻き取って勝ちたい気持ちから、靴下を脱ぐ姿も見られました。

早く来所する高学年のお兄さんお姉さんは、毎回新聞紙をつなげる準備をスタッフがすると、自然と手伝いをする様になりました。活動を始める前に「今日は〇〇君が新聞紙レースの準備を手伝ってくれました！」と必ず発表し、年長者としての自覚を育てています。



みんな楽しそうだね！

Angeに実習生が来ました



5月7, 14日と大阪医療福祉専門学校から6名のボランティアを受け入れました。この学校は、昨年度から子ども学科が新設されたく、子どもに特化したPT、OTさんを育成しています。実習に行く前のウォーミングアップとして、障害を持った子ども達との関わりを目的としています。言葉で伝えることが苦手な子どもたちもジェスチャーや手を引っ張り、遊んでほしいことをアピールしていました。楽しくダイナミックな遊びを目一杯してくれ実習生に「この白と紺のジャージの人は、思いっきり遊んでくれる！」と認識した子どもたち。2回目に来てくれた学生には群がるように子どもたちが集まっていました。



研修実施予定！申し込み受付中！

7/13(土)

第4回徳洋福祉会
実践報告会

スーパーバイザー
赤木 和重氏
(神戸大学大学院人間発達環境学専攻 教授)

申し込みQR



※外部の方など、どなたでも受講可能です。詳しくはお問い合わせください。

■場所: Ange (服部) 又は zoom ■時間: AM10:00 ~ ■参加費: 無料
■申し込み・お問合せ: TEL(06) 6151-2996 Mail: nakagawa@tokuyo.me 担当: 中川